



荒金 祥太

私は昨年の11月に入会させて頂きました。

私は入会時、知り合いもいなく青年会議所がどんな活動をしてるかもわからなく不安がたくさんありました。

しかし、周りのメンバーが優しく接していただいた事で毎月の委員会や例会を今では楽しみに毎日を過ごしていけるようになりました。

メンバー全員で目標を決め、それに向かって色々な意見を組み交わし事業を成功させた時はとても達成感がありました。

同年代の人間が大分のために、日本のために全力で頑張ってる事を初めて知りました。

私も少しでも力になれるようにこれから先、全力で活動に取り組んでいき自分の成長につなげたいと思います。



森 祐太

私は2015年12月に入会いたしました。今年度は故郷の未来選択委員会に所属し、角山委員長を始めとした多くの諸先輩方に指導いただきながら楽しく活動させて頂いております。様々な活動を通し感じたのは、青年会議所の皆さんの「推進力」と「意思決定の早さ」です。これまで他の団体や商工会活動にも参加しておりましたが、ここまで一致団結し、物事を進めていく推進力・決定するスピード力を持ち合わせた団体は他に無いのではないかと感じています。特に学生と共に作り上げていく「活性化ネットワーク事業」では、年齢、性別も含め多様な参加者がいらっしゃる中、流れを読み的確に指示を与え決定していく先輩方の進行から、私に足りない多くのことを勉強させて頂いております。

個人的には今年2月に結婚したり、会社での相次ぐ出張等もあり、環境の変化の中で活動を続けることの難しさを感じる事もあります。しかしそんな時、スポンサーの福嶋副理事長や高橋副委員長に気軽に話しを聞いて頂ける環境であることも素晴らしい事だと思っています。

まだまだ微力ではありますが、JC活動を通し地域社会の発展に少しでも寄与できるよう、日々頑張っていきたいです。



坂西 昭彦

私が入会したきっかけは中高の先輩である渡辺将志さんに青年会議所の説明会に誘われたのがきっかけでした。

その頃は仕事において煮詰まっていた事もあり、他業種の方と交流を持つ機会や学ぶ機会を得ることが出来る青年会議所の活動が自分を成長させるという私の目的と合致していると感じ入会を決意しました。

この1年半の活動を通じて感じたことが2つあります。

1つ目は諸先輩方の意識の高さと、タイムマネージメントの上手さです。

私は参加したいという思いがあっても時間を作れなかったという事が多々ありました。

時間を作れる会社の体制作り等私にとっての課題も活動を通じて明確にすることが出来ました。

2つ目は、出合いの大切さです。

活動を通じていく中での仲間との出合い、事業を通じて市民との出合い。

自分の好きな言葉の中で「一期一会」という言葉がありますが人と人が出会うことは必然でありすべてに意味があるということを肌で感じる事が出来ました。

私は今年38才になりますので青年会議所活動も同期の中では短い方になりますが、残りの時間を人よりも一生懸命取り組んで「気づき」や「出合い」を積み重ねていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。



内野 兼一

私は2015年10月に大分青年会議所に入会させて頂きました。

入会のきっかけに至るまで大分青年会議所という言葉も初めて聞くような状態で、会社以外の団体に参加したことも無かったため、自分は何をしたらいいのか、何ができるのかと漠然とした不安を抱えていました。

しかし、一年も経っていないこの短い間に、自分の意識がポジティブに変わり、密度の濃い情熱的な時間を過ごせる様々な活動や事業を、時には係わり目の当たりにした事によって、自らの成長に繋がるチャンス強く感じられるようになりました。

まだまだ考えに至らずご迷惑をお掛けすることもあります。諸先輩方や同期のメンバーの力を借りつつ、自らの成長、地域、社会、仲間へ貢献できるよう、失敗を恐れずチャンスに飛び込んで行きたいと思っております。